

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	西播磨の自然を活かした集落活性化モデル事業
対象地域	兵庫県 宍粟市 <small>しろうし やまさきちいき いちのみやちいき はがちいき ちくさちいき</small> 山崎地域、一宮地域、波賀地域、千種地域
	兵庫県 佐用町 <small>さようちょう とよふくしゅうらく かなごしゅうらく</small> 豊福集落、金子集落
対象地域の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【位置図】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>美しい景観を保つ一方で、維持が難しくなりつつある佐用町の棚田（佐用町豊福集落）</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>山の中に点在する宍粟市の集落（宍粟市）</p> </div>
提案内容の概要	<p>○人口減少が激しい小規模集落（限界集落）において、<u>大学生などの次世代の担い手を中心</u>にすえ、<u>自然・文化などの地域資源を活かし</u>ながら、<u>交流訪問に加えて、地域SNS、インターネットテレビなどのICTツールを活用した交流</u>により、<u>常時、お互いの顔が見え、つながりを意識できる持続可能な交流</u>をめざす。</p>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<p>○平成20年度に、兵庫県内の地域SNS主宰者が「地方の元気再生事業」の採択を受け、地域SNSモールを活用したバーチャルな交流と、都市部の若者のリアルな交流を織り交ぜた事業を実施し、そのビジネスモデルが先導的な取り組みとの評価を受けた。</p> <p>○宍粟市、佐用町ともに、この事業に協力し、都市からの若者を受け入れた。この取り組みのなかで、農村部においては、都市部との一過性の交流に頼るのではなく、農村部の若者(高校生など)へのアプローチも行いながら、都市と農村が協働し、常時接続性を意識し、過疎が進展するなかにおいても、「誇り」に思える地域づくりを進めていくことが大事であることがわかった。</p> <p>○宍粟市をつらぬく国道29号＝直轄国道は、通過交通が減少傾向にあり（岡山県境に近い佐用町側を経由する鳥取自動車道経由（一部開通済み）に流れているため）、企業や観光事業者の撤退が続くなど、地域経済が大きく落ち込んでいる。</p> <p>宍粟市 実質市町内生産 93.6% 佐用町 実質市町内生産 89.2%（10年間比較）</p> <p>○高齢化も進み、集落そのものの維持が困難になっている地域も数多くある。</p> <p>※高齢化率 宍粟市 26.7% 佐用町 31.0%（全県平均 20.5%）</p> <p>○そのため、小規模集落（限界集落）のなかにある資源を活かしながら、「ないものばかり」という観点ではなく、「あるものさがし」の観点で、都市と農村の連携、若者をまじえた世代を超えた連携により、持続可能な事業を行っていく必要がある。</p>
(2) 活動内容の案	<p>活動①：地域資源を活かした交流の促進</p> <p>内容：</p> <p>有名な観光地があるわけではなく、山ばかりが続く景観であるが、それを逆手にとり、その山を活かした地域おこしをめざして、奥山、里山の50選を行っている。高齢者、団塊世代の健康ブーム、お金がかからないレクリエーションとして、予想以上に好評となっている。</p> <p>いまは指定しただけの状態であるが、集落の伝承なども含めて、地域の奥山、里山に関する地域資源の掘り起こしを行うとともに、きめ細かくハイキング道を記録できる電子マップの整備など、都市住民の意見も聞きながら、また、ICT技術も活用しながら、誰からも親しまれる地域資源として活性化を図っていく。</p>

- ・山に関する地域資源の掘り起こし（都市住民からの意見聴取）
- ・都市住民との交流受け入れ事業（ふるさとの山のハイキング大会など）
- ・「いつでも誰でも活用できる」きめの細かいハイキング登山道を記録した電子マップの整備

活動②：若者が地域のことを「誇り」に思える地域づくり

内容：

宍粟、佐用ともに、定住人口の増加が難しい中山間地域であるが、大学生などの次世代の担い手を中心にすえながら、継続的な交流につなげるために、交流訪問に加えて、地域SNS、インターネットテレビなどのICTツールを活用することで、距離が離れていても、常時、お互いの顔が見え、つながりを意識できる持続可能な交流をめざす。

また、都市部からの刺激だけに頼るのではなく、農村部の若者が自分たちの住んでいる地域の問題を自らのこととして考え、自らの暮らす地域を「誇り」に思うことができるような地域づくりを進めていくことが大事であることから、農村部の高校生が積極的に参加する事業展開を行う。

- ・都市部の大学生・高校生、地元高校生による交流事業の展開
- ・地元高校生が地域のことを「誇り」に思うためのワークショップ（都市部の大学生との連携）の開催

活動③：小規模集落の活性化、情報発信活動

内容：

小規模集落（限界集落）との具体的な交流を通じて、都市住民や若者の目から見た地域資源を発掘するとともに、小ロットでも販売が可能な地域SNSモールを通じて販売することにより、集落の活性化を図っていく。

あわせて、大学生、高校生が集落のなかに入って、地元住民とともに共同作業を行うことで、水源地、森林等の維持管理に関する理解を深めていく。

また、野生動物（シカ、イノシシなど）被害へ理解を深めるため、駆除後の利用法などについて啓発を行う。

- ・小規模集落（限界集落）での共同作業の実施（大学生、高校生）
- ※ 地域の特産物（自然薯、きのこなど）の共同作業、森林内での作業、有害動物（シカなど）の駆除後の利活用
- ・小ロットの生産物のインターネット販売

応募団体名	にしはりまい き い き かい どう か っ せ い か き ょう ぎ かい 西播磨生き生き街道活性化協議会
リンク	
部局／担当者名	しそく観光協会会長 寄川靖宏 ・ 兵庫県企画県民部情報政策課 行司高博
連絡先	078-362-3046
推薦市町村名	宍粟市（兵庫県）